

野洲市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の実施状況について

●令和4年度の温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）について

令和4年度の温室効果ガス排出量は、集計の結果、4,447,665kgとなり、平成28年度（基準年度）の排出量7,169,074kgに比べ2,721,409kg、約38.0%の減少となりました。

<温室効果ガス排出量が減少した主な要因>

市施設へ電力を供給する電気事業者の電気の二酸化炭素排出係数（電気事業者が販売した電力を発電するためにどれだけの二酸化炭素を排出したかを推し測る指標）が改善されたことによるもの。

【平成28年度（基準年度）の電気の二酸化炭素排出係数】 0.531 (t-CO₂/千kWh)

【令和4年度の電気の二酸化炭素排出係数】 0.299 (t-CO₂/千kWh)

●令和4年度実績値と基準年度との比較

	単位	平成28年度【基準年度】		令和4年度【年度実績】				
		使用量	二酸化炭素排出量(kg)	使用量	二酸化炭素排出量(kg)	二酸化炭素排出量差引増減(kg)	増減率	
燃 料	ガソリン	L	27,908	64,802	29,090	67,547	2,745	4.2%
	灯油	L	45,641	113,600	28,805	71,695	△41,905	△36.9%
	重油A	L	—	—	30,000	81,300	81,300	100.0%
	軽油	L	6,366	16,456	7,159	18,505	2,049	12.5%
	液化石油ガス(LPG)	kg	183,625	550,691	202,757	608,068	57,377	10.4%
	都市ガス	m ³	71,113	158,866	83,489	186,514	27,648	17.4%
電 気	Kwh	11,817,690	6,275,193	11,426,542	3,416,536	△2,858,657	△45.6%	
太陽光発電売電量	Kwh	19,839	△10,534	8,362	△2,500	8,034	76.3%	
二酸化炭素排出量合計	kg		7,169,074		4,447,665	△2,721,409	△38.0%	

●計画の見直しについて

令和4年度の温室効果ガス排出量は、令和3年度に引き続き、平成28年度（基準年度）に比べ減少しています。

市では、令和5年3月に「第4次野洲市地球温暖化対策実行計画」を策定しました。

計画では、市が行う全ての事務及び事業に伴う温室効果ガスの排出を、より積極的な取組により抑制していくこと、また、取組結果を公表し、本市における地球温暖化防止に向けた取組姿勢を明らかにすることで、市民や市内団体、市内事業者などによる地球温暖化防止に向けた自主的・積極的な行動の促進に資することを目的としています。今後もWithコロナの時代に対応した地球温暖化対策を検討し、必要に応じて温室効果ガスの削減目標の修正をするなど、積極的に計画の見直しを行っていきます。